

# ファイル名を変更するだけで印刷できる会員証

内容：サークルの会員証や診察券など一度ナンバリングして印刷すれば、再発行しない限り印刷しません。そのためたくさんの番号を記入したファイルを作るのは、効率的ではありません。このフォーマットを使うと名前の変更だけで印刷することができます。

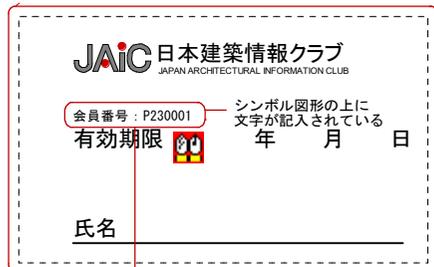
仕様：このままの状態では10枚づつ1~999番までの印刷に対応しています（1000番は直接編集すれば可能）。A-oneマルチカード（品番51002）に対応しています（一片サイズ 91mm×55mm）。A4サイズ タテの両面印刷となっていますので、表面だけ印刷する場合は、裏面を削除してください。ファイル名の一部（番号の部分）を変更するだけで自動的に番号が変わり印刷することができます。ただし、番号以外の部分の名前を変更すると意図しない印刷結果になります。このテンプレートは、会員証だけでなく名刺の印刷にも利用できます。

## 操作手順

1. サンプルファイルをダウンロードします 
- ① 右のダウンロードボタンをクリックして  「hint01.zip」ファイルをダウンロードします。展開すると「会員証001-010.mps」が出てきます

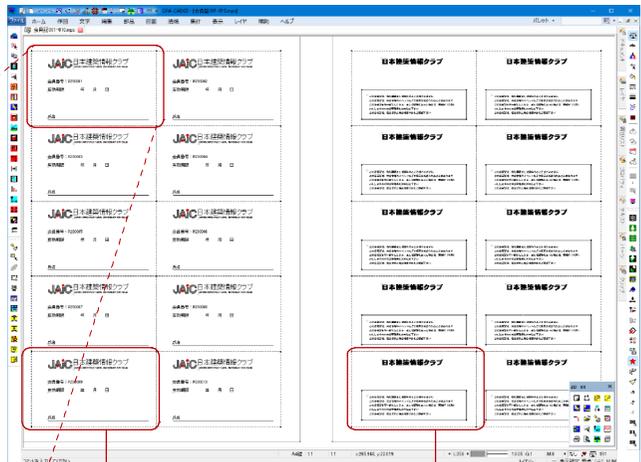
2. ファイルを開く 
- ① 「会員証001-010.mps」をDRA-CADで開きます。この会員証は、両面印刷となっており、表面、裏面共シンボル図形で作成されています。

3. 会員番号を編集する 
- ① 会員番号は、それぞれに文字列として記入してあります。この例では、P (Personal) 23は2023の意味、次の0はなくてもよいです。編集できるのは「会員番号：P230」までです



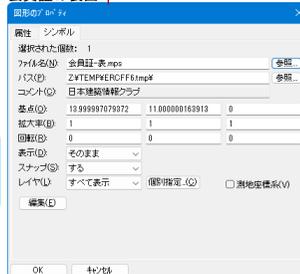
4. 会員証を編集する 
- ① 会員証のデザインをシンボル編集します。なお、シンボルは、MPS内に保存されています

【ファイル】→【開く】でファイルを開いた画面

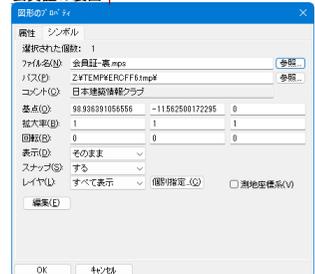


シンボルになっているので、シンボル編集で好きなデザインに編集する。

会員証の表面



会員証の裏面



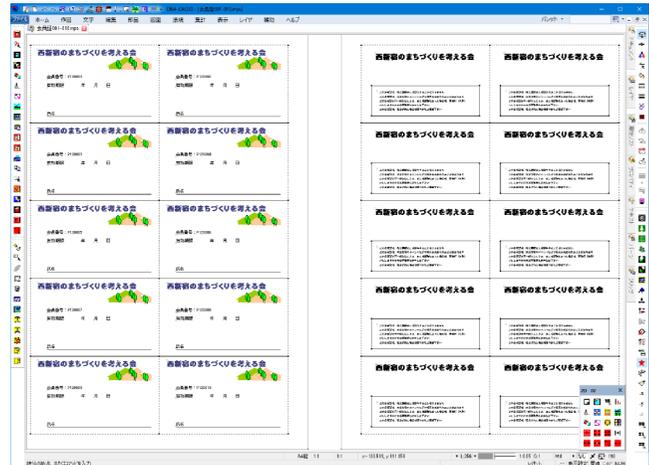
会員証の表面の編集例



5. 上書き保存する 

① 会員証のデザインを変更したら上書き保存します

会員証の編集ができた画面



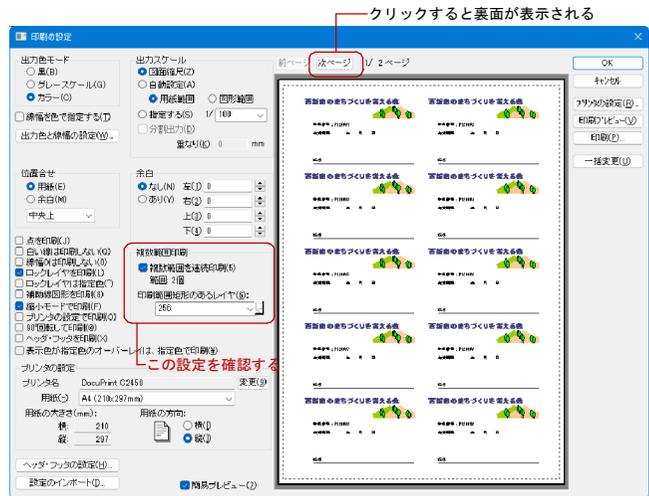
6. 印刷する 

① 印刷の設定を開き、設定を確認する。

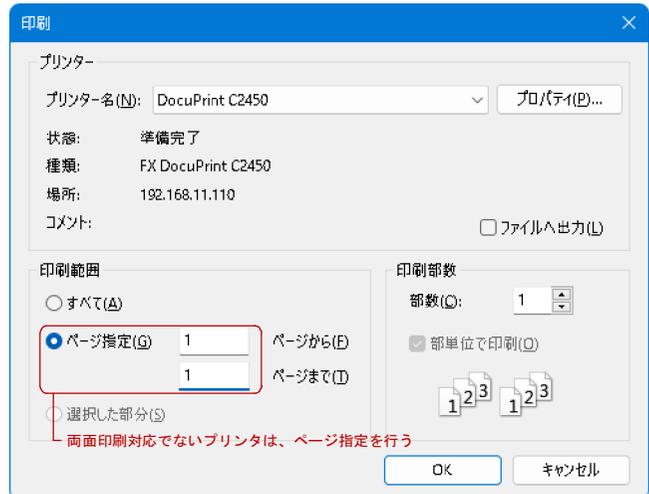
② 両面印刷の場合は、「複数範囲を連続印刷」にチェックが入っていることを確認します。「印刷範囲矩形のあるレイヤ」は「256」にしていますので編集集中に削除してしまった場合は、レイヤ256で範囲を記入します

なお、複数範囲の連続印刷が可能な場合は、ダイアログに [次ページ] [前ページ] のボタンがクリックできます

③ 確認後、[プリンタの設定] を行い [印刷] をクリックし、印刷します



④ もし、プリンタが両面印刷対応でない場合は印刷時にページ指定をして表、裏それぞれを印刷します



7. 番号を変えて印刷する 

会員証のデザインを編集して印刷すると、会員証は、01～10番が印刷されますが、11番～20番を印刷するときは、次のように行います

- ① エクスプローラ等で保存しているフォルダを開きます
- ② ファイルを選択し、右クリック→「名前の変更」を選択します  
(Windows11は、ファイル選択後、F2キーをクリック)

- ③ ファイル名を「会員証001-010.mps」から「会員証011-020.mps」にリネームします

- ④ リネームしたファイルをDRA-CADで開くと、会員番号が自動的に変更されています

- ⑤ 4の手順で印刷します

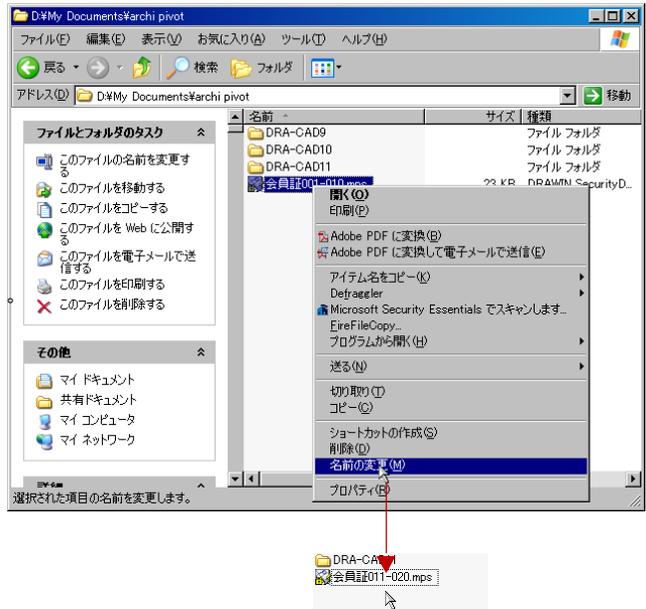
このようにひとつのファイルのファイル名を変えるだけで必要な番号の会員証を出力できます

□ファイル名と出力範囲

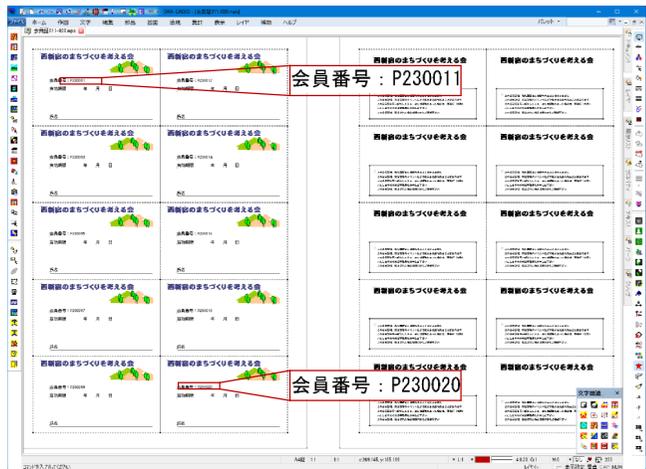
- 会員証001-010.mps : 1番から 10番
- 会員証011-020.mps : 11番から 20番
- 会員証021-030.mps : 21番から 30番
- 会員証031-040.mps : 31番から 40番
- 会員証041-050.mps : 41番から 50番
- 会員証051-060.mps : 51番から 60番
- 会員証061-070.mps : 61番から 70番
- 会員証071-080.mps : 71番から 80番
- 会員証081-090.mps : 81番から 90番
- 会員証091-100.mps : 91番から 100番

- 会員証981- 990.mps : 981番から990番
- 会員証991-1000.mps : 991番から999番  
(1000番は手動で書き換えが必要)

エクスプローラで名前の変更を行う



会員番号が自動的に変更される



□図面に記述して便利に使えるテキストコード

項目名	テキストコード	内容
ユーザー名	{TCODE:UserName}	インストール時のユーザー名
会社名	{TCODE:CompanyName}	インストール時の会社名
現在の日付	{TCODE:Date}	現在の日付(表示例「2023/2/3」)
図面名	{TCODE:DrawingName}	図面(ファイル)の名称(表示例「平面図」)
図面のコメント	{TCODE:Comment}	図面ファイルのコメント(表示例「○×新築工事」)
図面縮尺	{TCODE:PaperScale}	図面の縮尺(表示例「1:100」)
記入縮尺	{TCODE:DrawingScale}	現在の記入縮尺(表示例「1:100」)

表示範囲をあらわすフォーマット記号

記号	意味
M3.6	左から3文字目から6文字目を表示する
L3	左から3文字のみを表示する
R5	右から5文字のみを表示する
M6	左から6文字目以降を表示する

※ 全角は2文字分となる

表示範囲をあらわすフォーマット記号の使用例

使用例	表示範囲
{TCODE:DrawingName}	A-19 1階平面詳細図
{TCODE:DrawingName@"L4"}	A-19
{TCODE:DrawingName@"R10"}	平面詳細図
{TCODE:DrawingName@"M6.12"}	1階平面
{TCODE:DrawingName@"M6"}	1階平面詳細図